

中国の家庭料理を楽しみましょう

11月28日午前、県女性委員会(金井委員長)が主催して、富谷町の下塚淑恵さんを講師に、青葉区の中央市民センターで「中国料理教室」を開催。富谷日中からは伊豆田・板垣・佐々木・水戸さんが参加しています。参加18人は4班に分かれ、3品目を完成させ、昼食懇談を楽しみました。今号では「水餃子」のレシピを紹介いたします。中国流に新年を餃子で祝ってみては? (N)

〈水餃子〉5~6人分

材料と作り方 (皮) ①薄力粉1kgに水を少々加え、耳たぶくらいの柔らかさにこね、麺棒で伸ばし・まるめる、を繰り返す②細長くまとめたものを3cmくらいに切っていく③一個一個を麺棒で広げ、皮をつくる。(具) ①豚ひき肉500gをボールにとる②ニラ一束、白菜1/2個をみじん切りにし、水分をしぼる③むきエビ小を細かく切る。

(味付け*表A) ①~③に味付けし具の完成。

(包む) 皮に具を包み込む。(ゆでる) 大きめの鍋にたっぷりの水を沸騰させ、生餃子をゆでる。

(食べる) 大皿にゆであがった餃子を盛り、タレ(*表B) でいただく。次回「卵とホウレン草の炒め」

公民館まつりー「中国茶いかがですか！」



- 〈A〉味付け
- ・醤油 大さじ 1/2
 - ・胡麻油 大さじ 2
 - ・生姜 1片すりおろす
 - ・調味料 少々
- 〈B〉タレ
- ・香酢 20cc
 - ・醤油 大さじ 3
 - ・ラー油 少々
 - ・胡麻油 少々



「富ヶ丘公民館まつり」が十一月十六日に開催され、中国語講座では、「中国茶コーナー」で、茉莉花茶、烏龍茶、プアール茶やヒマワリの種、中国の菓子等を提供しました(写真左)。皆さん、大変にご苦勞様でした。同日夜には「香谷亭」で中華料理を囲み楽しい反省会も持たれました。(N)

青年委員会も活発に!

県青年委員会(山崎委員長)では3日に恒例の「中国語スピーチコンテスト」を日立システムズホールで開催しました。残念ながら富谷日中からの挑戦者はありませんでしたが「朗読」の初・中級、「スピーチ」の部で青年の活躍が目立ちました。

9日には留学生を招いて「鳴子峡・紅葉バスツアー」を企画。約40人の大型バスでの交流となりました。いずれも横山・菊地さんを中心に富谷のメンバーが成功を支える活躍でした。(Y)

ひろば 広 場

☆募集☆
毎月20日に投稿の締め切りとなりました。ご理解ご協力をお願いします!

☆新年から「TNC通信」も内容を刷新したいと思えます。ご意見を寄せ下さい☆

友好川柳
「天安門あわやの兆し大惨事」(テロが続いた。大惨事が第三次天安門事件に発展しないよう)「日中の文化架け橋 健さんへ」(中国でも人気絶大の高倉健。文化交流のお手本。おめでとう)「環境と腐敗の汚染とどまらず」(PM2.5等、日本の経験と技術で貢献したいもの。政・官の汚職は最近の日本でも)「男児(こ)は高値 産婦医までも欲ぶとり」(子供の闇売買だが、まさかの女医。欲望に手段を選ばず)「日米の野球さかなにうまい酒」(マー君、上原の大活躍)(柳川どじょう)

「王華・新潟総領事が帰国」

任期満了に伴い、王華総領事が離任し11月末、帰国しました。富谷日中へもご挨拶文が届きました。3年半の歳月を振り返りつつ、今後も中日協力を推し進めていきたいとの内容でした。赴任先は江蘇省で経済に関する仕事に携わります。ご苦勞様でした。

読書「中国人の誤解 日本人の誤解」(中島恵著 日経プレミアシリーズ 892円)

お互いに“親しみ”を持ってなくなってきた、日中間。でも、本音はどうか。「日本は中国と戦争したがつているのでは」など、どこか誤解が先に立っているのでは? そんな観点での著者の現場取材から、見えてくるものは多い。読みやすく、大いに学ぶところありでした。

「草原の風」(宮城谷昌光著 中公文庫 上・中・下各619円)

後漢の劉秀、歴史的な名君・光武帝の生涯と建国の物語。長編かつ精緻な資料に基く登場人物も多いが、飽きず引き込まれていく。古代中国の思想、文化にも触れられる。多忙な年末年始だが、時間を割いてみては。